

南房総・館山地域公共交通活性化協議会 令和6年度事業計画案

事業名称	具体的内容	合同計画への位置づけ	予算見込額
事前予約制乗合送迎サービス 「チョイソコ南房総・館山」の運行 <b>【地域内路線の再編】</b> <b>【公共交通空白地対策】</b>	令和5年9月末で廃止した路線バス平群線に代わる移動手段として、これまでのバス路線よりも集落の中まで入り、かつ、路線バスエリア外である館山市の館野・九重地区（一部）を対象に加え、事前予約制乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」を運行する。 <b>【運行計画案】</b> ①本格運行（R5.10月から） ・実証運行の内容を踏襲して運行を続け、利用者のニーズを把握しながら必要な改善を図る。 ※国のフィーダー系統補助金充当予定（見込額2,440千円）	事業3 地域内路線の再編及び有効活用（丸線・平群線）丸線・平群線の見直し	19,657
チョイソコとよふさ実証運行 <b>【地域内路線の再編】</b> <b>【公共交通空白地対策】</b>	令和4年度の「買い物シャトルサービス」実証運行の中で、利用低迷と利用者の固定化が見られたため、令和5年12月からチョイソコに移行させて実証を行っているが、通年での需要を把握するため、4月以降も継続して行う。なお、現行体制において国のフィーダー補助に該当させるためには、令和6年11月末までに本格運行に切り替える必要があるため、路線バス豊房線も含め、利用状況等により次のステージを検討していくものとする。 <b>【運行計画案】</b> ①実証運行（R6.4月～R7.3月） R5.12月から実施している実証運行と同内容にて、継続してチョイソコ（デマンド型）の運行を行い、需要の確認を行う。期間中、並行する豊房線は運行を継続するが、状況によっては、運行時間等の見直しを検討していく。	事業2 地域内路線の再編及び有効活用（白浜千倉館山線・豊房線） ②豊房線の見直し 事業5 フィーダー交通・補完交通の整備	11,710
公共交通空白地対策アドバイザー派遣 <b>【公共交通空白地対策】</b>	公共交通空白地における実証運行の本格化や路線バスの再編を検討するにあたり、当該地区住民のニーズのくみ取りや意見交換等を効果的に実施し、より良い事業内容とするため、アドバイザーを招へいし、当該地区での意見交換会や事業内容立案に参画してもらう。	事業2 地域内路線の再編及び有効活用（白浜千倉館山線・豊房線）	150
深夜時間帯の移動手段確保実証事業 <b>【フィーダー交通・補完交通の整備】</b>	夜間帯の鉄道や高速バス等で館山駅に到着しても、「一般タクシーが営業終了している」「稼働台数が非常に少ない」等の理由で、その先の移動手段を確保できないという声が多いことから、深夜時間帯に予約制による乗合タクシーの実証運行を行い、移動手段の確保や外出の促進を図る。 <b>【運行計画案】</b> ・R6.12～R7.3月の金曜・土曜（40日程度） 20:00～24:00の間 ワゴン車による運行を行う。 ・予めルートをいくつか設定し、予約が入ったルートのみを運行する。 ・予約方法は、チョイソコシステム又はGoogle form、直接電話等を検討していきたい。 ※県補助金対象事業（補助率1/2又は上限3,000千円）	事業5 フィーダー交通・補完交通の整備	1,258
市民アンケート調査 <b>【南房総・館山地域公共交通計画更新に向けた調査】</b>	南房総・館山地域公共交通計画更新に向け、市民アンケート調査を実施する。なお、その結果等を踏まえた計画更新作業はR7年度に実施する予定。 <b>【実施計画案】</b> ・各市2,000人、合計4,000人を対象に、公共交通の利用状況や今後のあり方等を問うアンケート調査を実施する。 ・アンケート調査の結果を集計・分析し報告書にまとめ、次年度の計画更新作業に活用する。 ※国補助金対象事業（補助率上限1/2）		4,000
公共交通定額乗車券の販売 <b>【利用促進・分かりやすい利用環境整備】</b>	スマホ乗車券の販売（継続） 事前決済による乗車券の販売により観光客や高校生等に利用しやすい環境づくりの一つとして、令和5年7月より（令和6年3月まで）販売しているスマホ乗車券（1日乗車券及び回数乗車券）について、令和6年度も引き続き販売していく。	事業9 利用しやすい・利用したいと感じてもらえる環境の整備	50